REIMEI 黎 れいめい 明

～一般社団法人　日本PVプランナー協会会報誌～　Vol.9　新春号

表紙写真提供
タキマテック㈱
㈱サンエイエコホーム

CONTENTS

- **特集／第5回全国会員大会**
- 2017年度 部会事業の創設報告
- 地区会レポート／中部、中国・四国地区
- 会員企業訪問／㈱J.Cプランニング
  ㈲鈴木工建
- PVネットワーク／職人革命会
- エネルギーマネジメントアドバイザー認定センター活動報告

新年のご挨拶

一般社団法人日本PVプランナー協会　理事長　林　浩司

新年明けましておめでとうございます。

FIT制度は、昨年4月の年度初めから認定制度が変更になり、新規の認定や変更認定にも大きな影響がありました。平成29年度も終盤にさしかかり、この混乱も収束してきてはいますが、我々販売施工業者にとっては、死活問題ともなりうる年だったと思います。

実際、多くの太陽光発電業者が、姿を消していきました。目まぐるしく変革していくこの我々の環境を、みなさんとともに、さらによい方向に向けていくことができることを願っております。近年、我々の業界には、さらなるコストダウン、再エネ賦課金、発電電力の自家消費や蓄電システム、メンテナンス中古市場、ソーラーシェアリングやVPP、また、アメリカのパリ協定からの脱退、ヨーロッパ発のEVムーブメント、などさまざまな要素が取り巻いています。

私どもは、社団法人としての精神を忠実に守りながら、今年もまだまだ新しいことにチャレンジし、進化してまいります。

最後になりましたが、今年も、引き続きよろしくお願いいたします。

SHIN.EI
太陽光発電メンテナンス測定器
ドローンやサーモカメラで初期診断
ドローン診断システム
Aerial 6432R
本体価格 ¥2,280,000（税別）
①ホットスポット検査
上空 30m　赤外線サーモ画像
クラスタ不良
自動飛行 衛星写真に直接記入
飛行ルート
飛行高度
飛行速度
カメラ角度
撮影開始
開放電圧：22.5V　Isc：6.0A
開放電圧：21.0V　Isc：1.8A
②発電能力測定
NEW
PVレジスタンスチェッカー
PVR-1000
定価 ¥138,000（税別）
測定
1秒!
開放電圧
内部抵抗を高速測定
NO-GO
判定
1000件
保存
USB
太陽光発電 I-Vカーブトレーサ
IVH-2000Z
定価 ¥450,000（税別）
高速
1秒
I-V
カーブ
内部
抵抗
データ
解析
日射計
付属品
新栄電子計測器株式会社
〒252-0816　神奈川県藤沢市遠藤2636
TEL 0466-88-3030　FAX 0466-87-0627
SHIN.EI
http://www.shin-ei.ne.jp

2017年度 部会事業の創設報告

2012年法人化以前から会員の情報･知見共有として、地区会ごとにセミナーを企画し、開催してきましたが、業界動向の変革と再生可能エネルギーの多様化に対応した内容を中心に行ってきたため、地区会ごとの特色はあるものの継続的なセミナーを行うことができませんでした。

そこで、新たに一つのテーマに情熱を持って深く継続的に牽引できる方をリーダーとした、少人数による勉強会や研究会を部会事業として行うことになりました。部会による勉強会･研究会によって得た知見は会員の皆様と共有できるように地区会での発表、単独セミナー開催、資料などの成果物のメール配信、広く一般にまで公開するＨＰ掲載などを行い、重要な情報の共有化を推進していくことと致します。

また、過去5年間の活動によってできた各省庁との連携を図り、提案や意見交換により公に推進できる方向にしたいと考えています。例えば住宅太陽光発電設備の火災防止のため、消費者庁、消防庁、経産省と連携したり、発電事業者へ保守維持管理義務化の啓蒙活動を行う体制づくりを各自治体と構築したり、パネルの適正なリサイクル・リユース・処分等を環境省、消費者庁と連携したり、地域電力の推進を環境省や自治体と連携するなどです。

最終的には会員事業の拡大につながるようにしたいと考えています。

《部会活動報告》

早速3人の方からご提案があり、リーダーとして部会を開催させていただいております。今後も協会とともに新しい部会を創設したい方がいらっしゃいましたら事務局までご提案をいただき、共に作って行きたいと思います。

〔発電事業者部会〕

改正FIT法や保守管理の重要性が周知されていない多くの発電事業者に対し、公開セミナーを行い、省庁や行政とも連携し、正しい情報周知を行い、会員企業の事業に繋げていきます。

2018年4月、5月開催に向け企画進行中です。

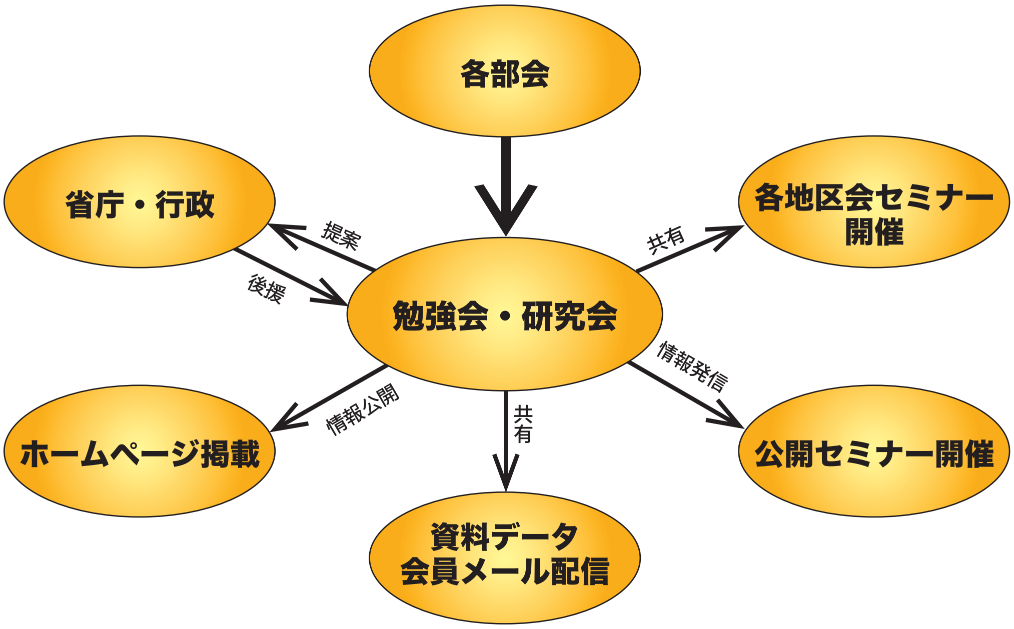
〔住宅用エネルギー部会〕

住宅太陽光発電の2019年問題に発し、エコキュートやパワコンの寿命更新を進めるべく販売手法から商材まで幅広く勉強会を行います。

2017年12月、2018年3月に開催し、その成果を元に4月以降の地区会にてセミナーを開催予定です。合せて販売手法の資料を会員に配信する方向で作製中です。

〔アークフォルト研究部会〕

直流におけるアークフォルトについて、会員である㈱戸上電機製作所様とともに研究を行い、各省庁とも連携し、住宅太陽光発電の安全確保を目標としています。半年～1年ごとに成果報告を会報誌またはメール配信にて行う予定です。



第5回全国会員大会

チャレンジと進化をし続ける協会でありたい

一般社団法人日本PVプランナー協会
理事長　林 浩司

当協会は一般社団法人化して５年となります。これも会員の皆様をはじめ、行政諸団体のおかげと感謝申し上げます。「私たちは、PVプランナー・PVシステムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます」という理念を掲げてスタートし、今でもこの理念を基本として活動しております。

これからもこの精神を持ちながら、新しいことにチャレンジし、進化してまいります。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

太陽光発電が基幹電源になるための課題とは

経済産業省 資源エネルギー庁 新エネルギー課
再生可能エネルギー推進室室長
杉山佳弘氏

太陽光発電の普及に向けた経済産業省の政策課題についてお話しさせていただきます。

わが国が目指すところは太陽光発電のさらなる普及促進、持続的な事業展開の確保です。これを国民負担を抑制しながら、いかに実現していくかが課題となっております。この目標を達成するために検討すべき政策課題は何か。三つあります。

一つ目は「コスト競争力の強化」。対策は、FIT制度下において中長期的な価格目標の設定、入札制度の導入、技術開発などが考えられます。

二つ目は「FIT制度からの自立化への取組み」。交付期限後も事業を継続するための継続的設備投資、直接販売などによって、他電源との価格競争力を備えていくことが必要になってきます。

三つ目は「系統への円滑な導入のための政策」。変動電力である太陽光発電を大量に利用していくためには調整力となる電源や広域流通のための系統設備の確保といった課題を解決していく必要があります。系統アクセスの見直し、市場調整力の利用、出力抑制の最適化などの対策の検討にあたっています。太陽光発電が基幹電源となるために避けて通ることのできない課題であると認識しております。

再生可能エネルギーとしての太陽光発電の重要性

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課
地球温暖化対策事業室室長　水谷好洋氏

地球温暖化対策には再生可能エネルギーのさらなる普及が必要不可欠であります。その中で太陽光発電は大きな役割を果たします。

環境省では農地におけるソーラーシェアリング、FITに依存しない再生可能エネルギーの効率的な利用といった事業を進めております。建築物に太陽光パネルを取付けてZEHを目指す取組みも行っており、これも大変重要だと感じています。

このような事業に関しては貴協会様のご支援ご協力が必要です。引き続きよろしくお願い申し上げます。

ソーラーシェアリングの推進によって好循環をもたらす

農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課
再生可能エネルギー室室長　鎌田知也氏

農林水産省が推し進める再生可能エネルギーの施策の中、太陽光発電についてはソーラーシェアリングの促進に踏み出しています。

農家が自ら発電事業を行い、安定した売電収入を得ることができることによって、それが安定的な農産物の生産や地域の維持・活性化、地域経済の好循環を生み出すといった結果を生むことを、大いに期待しています。一方、試行錯誤で取組んでいただいている事例も聞いており、技術的に発展途上であるとも認識しております。

また、小規模分散型、地産地消型発電は、農村地域ならではの発電事業の将来の可能性を示しています。発電と農業との併用といった技術革新を探っていきたいと考えています。

2017年11月17日、「第5回全国会員大会」が東京渋谷・シダックスカルチャーホールで開催されました。120名にもおよぶ来場者となり、基調講演も大変好評で大盛況となりました。

全国会員大会　表彰

安全スローガン賞

㈱光システム
菅原俊介氏

安全スローガンは
「あわてるな！ 心に余裕！ 視野広く！」

最優秀会員賞

㈱光システム
高橋正彦氏

最優秀会員賞は各地区会表彰者の中から特に地区会活動への貢献が著しかった協会員を表彰

設立5周年特別賞

大丸電業㈱
大島錦二氏
（写真は代理の大島譲博氏）

法人設立５周年を記念し、長年にわたる地区会活動への貢献が著しかった協会員を表彰

特別功労賞

㈱ビル技研
佐用功貴氏

法人設立以前から多年にわたり、協会運営に献身的協力していただいた協会員を表彰

基調講演

「つながる地域電力ネットワーク」
～すでに始まっているエネルギーによる新たな地域活性力～

みやまスマートエネルギー㈱
代表取締役　磯部 達氏

みやまスマートエネルギー㈱は、福岡県みやま市が出資してできた第三セクターです。地域にある再生可能エネルギー、特に太陽光を中心に電力の小売り事業を行い、収益を地域課題の解決に使っていくという取組みを行っています。本日はその取組みについてご紹介いたします。

地域電力が地域を活性化する

多くの自治体が「人口減少」「高齢化」「活力減退」といった課題を抱えています。エネルギーを基盤とした地域活性化がこの解決につながっていくのではないかと思っています。

今、電力の小売り自由化を地方で行うことによって、さまざまなビジネスチャンスが生まれてきています。地域の資源をできるだけ活用して、電力の小売り事業を地域に密着されている事業者が中心になって、あるいは自治体も巻き込みながら、新電力会社を設立し、再生可能エネルギーをさらにその地域の中に広めつつ、地域の方々の応援をいただきながら、地域を元気にするという観点でサービスとしてお返しをしていく構図です。雇用を創出し、税収を増やす、そしてその利益を財源とした地域のサービスの充実を向上させる。これを繰り返すことで地域の魅力を上げ、電気代は下げていく。全国の地方都市で実行していく、横の連携を取りながら広げていく。これからのひとつの方策かと思っています。

具体的取組み

具体的に、みやまスマートエネルギー㈱の取組みをご紹介します。

「電力販売」「市民サービス」「地産地消産業振興」が３本柱です。先にお話しした地域の課題解決の一つとして、みやま市は地域にエネルギー会社を作って、そこが地域の担い手となって街づくりをしていこうということでスタートしました。

まず、みやま市は、2013年に5,000kWのメガソーラーを建設しました。そして、市内の41社の出資による「みやまスマートエネルギー㈱」を設立、この会社がメガソーラーを管理・運用して市内でエネルギーを循環させていこうと考えました。

地域の中で生まれた電力を地域の中に循環させ、その収益をさらに街づくりに使っています。

電力会社は海外から資源を買って、発電所でそれを燃やして電気を作っています。多くのキャッシュが海外に出ていってしまっています。みやま市の資金も九州電力を通じて海外に出ていってしまっているわけです。このお金を再生可能エネルギーによって市内に循環させれば、それだけの地域活性化効果があるということです。市内で生まれたエネルギーを市内で使い、雇用を増やし経済を活性化する。みやま市に住んでいてよかったといっていただける街づくりを推進したいと考えています。

地域電力会社を作る時、外部から専門家を呼んでくるのではなく、あくまでも自分たちが人を雇用し、自分たちがシステムを作り、自分たちでデータを持つということが、今後非常に大事になってくると思っています。

日本にシュタットベルケネットワークが生まれました。地域電力の横のつながりも増えてくると思われます。ぜひ、みやま市に視察に来てください。

2030年までに訪れる エネルギー変革と発電事業者の ビッグチャンス

(一社) エネルギー情報センター
理事　江田健二氏

エネルギー情報センターは、エネルギーに関する情報を分かりやすくお伝えすること、エネルギーとデジタルを融合させた新たなビジネスを創造すること、この二つが団体の目的です。

エネルギー業界は魅力のある業界なのでしょうか。大きな流れとして10年後20年後の電気の使われ方を考えてみましょう。例えば1985年に自由化された通信業界はさまざまなサービスが育ちました。フランスやイギリスの友達とリアルタイムで議論する、など20～30年前では夢物語でした。エネルギー業界もこの可能性があると思うのです。コンテンツとして「IoT」「ロボット・ドローン」「AI」、ハードソフトウエアとして「電気自動車」「蓄電池」「分散型発電」、インフラ・ネットワークとして「スマートメーター」「ワイヤレス給電」「ブロックチェーン」など、電力利用情報のデータベース化、オープン化、共有化などにより新しいサービスの創造がなされます。エネルギー需要は拡大していき、エネルギーデータから人や物の動きが把握できる、つまりエネルギー情報＝資産となります。

では、これから何が変わるのでしょうか。エネルギー消費者が生産者となる社会です。生産消費者が主役となり、そして自給自足が加速していきます。いっぽう旧来の電力業界市場は縮小していきます。この時、どんなビジネスチャンスがあるのでしょうか。

変化はチャンスです。「増加する生産消費者のニーズを先回りしたスタイル提案やサポート」「ターゲットの絞り込みによる価値の提案」が考えられます。「ワクワク感」いっぱいのエネルギー業界になるよう期待しております。

いよいよ始まった！ 水田ソーラーシェアリングの 栽培・収穫実績発表！

～ソーラーシェアリングは農業を革命するか？

千葉エコ・エネルギー㈱
代表取締役　馬上丈司氏

私は自然エネルギーと農業ビジネスの共生・展開というテーマに取組んでいます。農業従事者は減少しています。耕作放棄地も増加している現状です。

ソーラーシェアリングとは、農業と発電事業を両立するための仕組みです。農地の上3～4mほどの高さに太陽光パネルを設置することで上では発電、下では農業を行うことが可能となります。これは2013年に農林水産省で認められました。

稲の栽培方法や農業機械はすでに確立されており、長期にわたって安定した栽培が見込まれる水稲耕作は20年以上の事業継続が予定されるソーラーシェアリングと相性のよい組合せといえます。

秋田県の井川町に水田ソーラーシェアリングの実証設備を建設致しました。トラクターが問題なく作業できる空間を確保し、耐久性の高いアルミ製パイプで架台を組み、錆に強いスチール製のスクリュー杭を使用しています。生産の結果としては１割減でしたが、ただこれは試験的に従来どおりのやり方でやった結果です。肥料のやり方、品種の変更など、いろいろ方法は今後考えられます。太陽光発電による農家の収入安定化につながるソーラーシェアリングはまだまだ可能性が広がっていくと思われます。

自然エネルギーによる次世代農業は今始まったばかりです。

懇親会

地区会レポート

名古屋編（2017年12月1日）

営業マン必見！売れる住宅太陽光発電＆2019年問題対策

―中部地区会―

　住宅用太陽光設備を第一線で販売してこられた㈱イーステージ 専務取締役石丸氏から営業とは何か、売れる営業にとって何が重要で何が必要か、その考え方、行動のあり方についてお話をいただきました。住宅太陽光設備は実は売電単価の高い8年前よりも今の方が収益が上がり設備投資の回

新入会会員証授与㈱中エネ様

新入会会員証授与 Krannich Solar㈱様

石丸氏講演風景

収年数が短くなっているという実例を具体的な数値で実証。いかにこの数値をお客様にお見せするか。本質をしっかり説明するか。キーワードは「電気料金の高騰と設備費用の下降」となり、従来のように下降する余剰売電に目がいってしまうとせっかくの商機を逃しまうことになる。商売の着眼点は時とともに移っていくものであり、絶えず新しい目を持たねばならないということです。

　そして2019年問題はマイナスではなく新しい商売の始まりとなります。そこに意識を持つことで設置10年目を迎えるエコキュートの交換市場から蓄電池システム提案へと広がりをみせることが理解できます。今回はこのように常に新しい視点により新しい商売を生むということを学ぶことができたセミナーになりました。

徳島編（2017年12月8日開催）

製品品質へのこだわりが太陽光発電システムを支える

―中国・四国地区会―

　四国・徳島県で初の地区会を開催いたしました。今回は外資系商社3社の担当者を講師にお迎えし、自社製品の特徴および品質へのこだわり等をレクチャーしていただきました。

　まず、ソーラーエッジテクノロジージャパン㈱の永沢氏から、DC最適化パワーコンディショナシステムの特徴である、より多くの発電量・O&Mコスト削減・長期にわたる保証・非常時における安全機能等について講義していただきました。

　次に、Krannich Solar㈱の今井氏から、ドイツ製陸屋根架台D-DOMEについて、5つの特徴と施工事例を解説していただきました。加えて幅広いモジュールメーカーに適合している点についてもお話しいただきました。

　最後に㈱セラフィムソーラージャパンの米津氏より、高品質モジュールを厳しい基準で管理、生産している生産ライン、品質保証を基盤とする会社の試験設備・テスト等について、自らパネルをご持参いただき、製品を前に説明していただきました。

　皆さん熱心に聴講され、各セミナーの質問時間においても疑問点を率直に質問されるなど、有意義な時間となったようです。

ソーラーエッジテクノロジージャパン㈱永沢氏

Krannich Solar㈱今井氏

㈱セラフィムソーラージャパン米津氏

パネル展示

※これらの映像＋資料は協会ＨＰより視聴＋ダウンロードが可能となっています。社内研修や社内事業検討にお役立てください。

社会に貢献する企業でありたい

㈱J.Cプランニング（関東エリア会員）

J-C PLANNING CO.,LTD.

当社は2001年に創業し、一般住宅用太陽光発電システム設置、販売、施工からスタートした会社です。

埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、群馬県、東京都を中心に2000棟以上の設置実績があり、お客様のニーズに合せて屋根塗装や内装リフォームも行っています。

新たな社会インフラとして2012年に固定買い取り制度がスタートした産業用太陽光発電システムの設置、販売、施工も行っており、屋根・野立て・ソーラーシェアリング等お客様の要望に合せて設計し、よりよい商品をよりよい価格で提案し施工まで一括して請け負っています。

また、弊社はアフターサービスに力を入れており、発電事業者様の遠隔監視システムの管理、電機メーカー様と連携したメンテナンス業務、住宅用太陽光発電の点検、改修工事、産業用発電設備メンテナンス全般、高圧受変電設備保守点検業務など、プロ意識を高め、個人、法人に関わらず発電事業者様の納得のいくサービスにこだわっています。

【経営理念】「創造と調和」を基本とし、自然とともに、誠意と行動で信頼され、社会に貢献する企業でありたい。そして、勤めに自信を持ち、挑戦していることを誇りとしたい。

・会社概要・
社名：㈱J.Cプランニング
住所：埼玉県さいたま市浦和区領家3-11-1
代表者：代表取締役 小川和義
創業：2001年12月
主な事業：電気設備工事業・太陽光発電売電事業・建築工事業

お客様の「夢」を叶えるパートナー

㈲鈴木工建（東北エリア会員）

福島県南相馬市にて工務店として昭和63年に創業し、地域密着の企業としてこれまでお客様と二人三脚で歩んでまいりました。

平成23年3月11日の東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故による度重なる被害により、同県東白川郡の地に避難を余儀なくされ、さまざまな思いが交錯する中、多くのご支援やお心寄せをいただき、避難先である棚倉町を第2の出発地点として再起を図ることができました。私どもは今回の災害や事故を経験した身として、危険性の高い原発に依存することのない安全な日本の将来を皆様と共に創り上げていきたいという強い思いから、太陽光発電システム事業部の立ち上げを決意いたしました。震災からこれまでいただいた恩に報いるためにも、安全・安心・経済的でクリーンなエネルギーの普及を促進し、未来を担う子供たちのために、安心で安全なよりよい環境を残すべく事業を展開してまいります。

～お客様のニーズに合ったご提案～

お客様に提案する家づくり、また住宅用・産業用の太陽光発電システムのご提案は、どちらもお客様が長年お使いいただく大切な財産であると考えます。住宅造りも太陽光発電システムもお客様のご要望に適切に対応できるよう心がけることはもとより、お客様に長年安心してお使いいただくためには、商品をご提供して終わりではなく、ご提供してからが弊社とお客様との「未来永劫」続くお付き合いの始まりであると考えております。住宅においては、長年住まう空間が快適空間かつエコであるか、そうでないかで、これからの人生そのものが変わってきます。費用を掛けていい所、掛けなくても差し支えのない所を一緒に話し合い、快適でエコな住まい造りを実現いたします。太陽光に関しても、寿命が35～40年ともいわれており、設置場所や立地環境、また設置するメーカーによっても発電効率に大きな差が生じます。さらには、固定価格買取制度が終了した後の有効的な使い道は？といった先を見据えた部分も踏まえ、お客様に最適なプラン選定し、地球と家計に優しいご提案に努めてまいります。

・会社概要・
社名：㈲鈴木工建
住所：福島県東白川郡棚倉町大字上台字行人塚51-3
代表者：代表取締役 鈴木安泰
創業：1988年4月
主な事業：一般建築設計・管理、一般住宅新築・改修、太陽光発電システム販売・施工・保守、木工家具製作・販売

PVネットワーク

職人革命会
SHOKUNIN KAKUMEIKAI

再生可能エネルギーの普及を現場から支えるプロ集団

㈱エナジービジョン（運営事務局）

職人革命会は、地域に根ざした販売店・施工店の団体です。全国約100社の会員店と約30社の賛助会員が在籍しています（2017.11現在）。

職人革命会の主な活動は、毎月1回の勉強会とメーリングリストによる情報交換です。勉強会は東京・大阪・名古屋で開催し、全国から約70人以上が集結します。**「商売に直結する研修」**を標榜し、単なる勉強会ではなく、最新の業界動向や技術、営業手法、経営ノウハウなど、売上の拡大・利益の増加に結びつく内容を厳選しています。

《職人革命会の理念》
- 相互に助け合い、共に発展を目指す
- 常に技術の向上を目指す
- プロとして、お客さまから信頼される
- 会の名誉を汚さない

2018年、「職人革命会」は視野を広げた活動を目指します

世界のエネルギー事情が大きく変わろうとしている昨今、「職人革命会」は日本における再生可能エネルギーの普及を支える活動に力を入れます。

会員企業の業績向上を目指すことは当然ですが、さらに視野を広げ「将来の日本」に貢献するため、現場の第一線で活躍している集団ならではの関わり方を探求して参ります。

具体的には、施工力向上とコスト低減を両立すべく、強靭な現場力にさらに磨きを掛けます。

再生可能エネルギー普及のコンセプトを実現するのに、今最も足りていないのは“強靭な現場力”との認識の下、**「再エネの普及を現場から支えるプロ集団」**として貢献致します。

＜勉強会見学の申し込みはこちら＞

㈱エナジービジョン 職人革命会運営事務局
〒101-0032
東京都千代田区岩本町1-9-3 池原ビル3F
TEL：03-5829-6424　FAX：050-3383-4769
info@energyvision.tv

エネルギーマネジメントアドバイザー認定センター活動報告

太陽光発電を含むすべてのエネルギーをマネジメントするアドバイザーの育成を行なうため、認定講座を、認定センター、認証機関、アカデミック認定校において開催しており、開講以来2年間で認定者が1,292名となりました（2017.12.6現在）。

北海道	55名
東北	134名
関東	431名
中部北陸	184名
近畿	352名
中国	61名
四国	30名
九州	45名

ＥＭＡ認定講座ではテキストの事前学習だけでなく、ほぼ一日、講座会場にて専門の講師による、そのとき一番の最新情報と、今後、起こるエネルギー革命などを学習していただいております。

世界を取り巻くエネルギーは刻々と変化をしており、そのマネジメントも進化していきます。

そのため認定者のフォロー研修を年間4回開催し、遠隔の方にはＨＰから映像視聴もできるようになっており、気軽に24時間自宅で学べます。

2018年は認定講座はさらに増え、認定者も2,000人を超えることでしょう。

東洋計測器株式会社 計測器ランド 秋葉原の計測器総合商社

〒101-0021　東京都千代田区外神田1-3-12　計測器ランドビル　　電話：03-3255-8038　　http://www.keisokuki-land.co.jp

ーーー下記製品はコチラでお求めいただけます！ 「はかる」事ならワンストップサービスの計測器ランドへーーー

FIT法改正

<<　太陽光発電の点検・調査に使用する計測機器・例　>>

I-Vカーブトレーサ
HIOKI　FT4300
＜タブレットで簡単操作＞

バイパスダイオードテスタ
HIOKI　FT4310
＜昼でも測定可能＞

絶縁抵抗計
HIOKI　IR4055-11
＜PVモード搭載・4秒測定＞

電源品質アナライザ
HIOKI　PQ3100-92
＜使用前点検時の
波形・高調波測定に＞

クランプ式電流計
HIOKI　CM4371
＜タフ・高速・多機能クランプ＞

マルチメータ
HIOKI　DT4254
＜世界最速・安全測定＞

接地抵抗計
HIOKI　FT6031-03
＜防塵・防水・ワンプッシュ＞

検電器
HIOKI　3481
＜光と音で安全検電＞

サーモグラフィ
FLUKE　TiS10

ラインチェッカ
戸上電機製作所　TLC-C

EL測定：　西進商事
Solar EL Explorer

校正とは

東洋テック株式会社　計測器の校正受託

計測のよりどころは計測機器です。 計測機器がズレていれば、計測結果は正しくありません。
計測機器は精密な電子製品。 国家の標準に照し合せ、計測機器がズレていない事を監視する。
それが校正です。 **東洋テック㈱**におまかせください。 「高品質」「短納期」「低価格」を実現します。

http://www.toyotech.co.jp
■東京キャリブレーションセンター　〒101-0021　東京都千代田区外神田1-3-12　計測器ランドビル　　電話：03-3251-8676
■浜松キャリブレーションセンター　〒435-0048　静岡県浜松市東区上西町60-3　　電話：053-465-5800
■九州キャリブレーションセンター　〒812-0015　福岡県福岡市博多区山王1-6-18　　電話：092-409-5459

一般社団法人 日本PVプランナー協会　理念

私たちは、PV プランナー・PV システムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には
1、私たちは「地球環境問題」の解決に取り組みます。
1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

2017年度 安全スローガン

『あわてるな！心に余裕！視野広く！』

㈱光システム　菅原俊介氏作

施工現場の安全対策啓蒙活動として安全スローガンを募集を行っており、2017年度の安全スローガンを第5回全国会員大会にて発表いたしました。

今後は安全スローガンの募集を年間の取り組みとし、各会員様の社内において応募コンペを開催していただけるよう企画を進めます。

また安全に関する情報発信を定期的に行い会員の皆様の安全への意識を高めていきたいと思います。

事務局だより

昨年4月から坐骨神経痛が発症し、気が付けば椎間板ヘルニアに！左臀部から脹脛まで一歩歩く

たびに激痛が…「年寄りは痛みとともに生きる」とはいうものの、あまりの痛みに初めて地区会を欠席。ブロック注射を打とうと通院するも、検査で糖尿値が高く感染症のおそれがあり打てない！えー糖尿値！？いつのまに？それからは食事改善の日々と痛み緩和姿勢の日々が続き、体重も10kg減と28才当時までに戻しました。体重が減るのと治療の甲斐あって11月には痛みも全快し糖尿値も尿酸値も正常になりました。一病息災という言葉があるとおり、病を得たからこそ努力できますね。

この正月はさらに運動を強化し、好きな珈琲と料理を楽しみつつ仕事とバランスを取り、とても素敵なスタートができたと思っています。

戌年にあやかり皆様も元気で活動的な明るい一年になりますよう願っております。　　大槻

お問い合せは…

一般社団法人 日本PVプランナー協会

JPPA

〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3-7-18
第2上野ビル715号室
TEL：045-594-8015／FAX：045-594-8016
Web　http://pv-planner.jp
Mail　otoiawase@pv-planner.jp

制作・編集：㈱電設出版